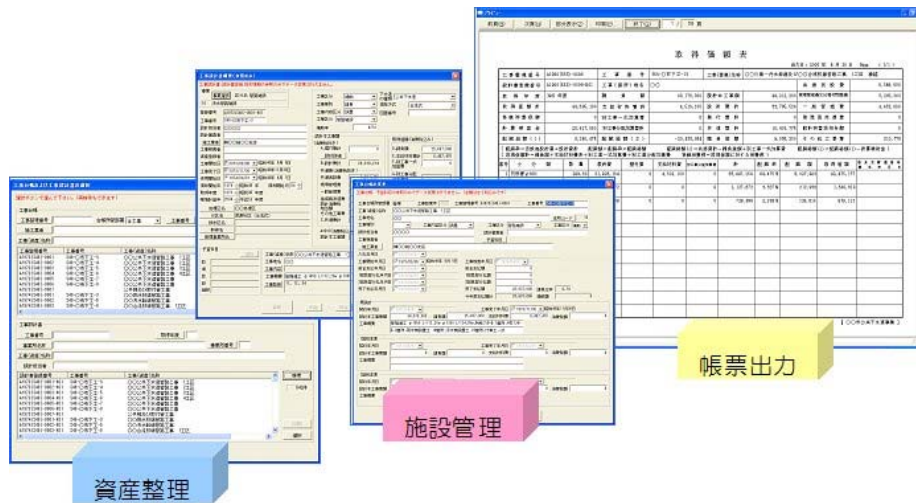


2. 資産管理システム

概要

増大した都市施設ストックは、再構築や維持管理コストの増大を招いています。自治体は、既存ストックや地域の実情を踏まえ、アセットマネジメントや地方公営企業会計の導入などにより、地域の自主性を活かした取り組みを推進することが求められています。そのためには、都市施設ストックの資産把握および各管理システムとの連携が不可欠です。

本システムは、施設管理システムや会計システムとの効率的な連携により、スムーズな資産整理から法適化、その後の運用までをサポートします。



●データ入力機能

工事情報、資産情報、機器情報の画面の流れに沿い、該当項目を選択式で入力することが可能です。変更時の金額や概要も入力できるため、原設計との比較ができます。



●減価償却計算

入力したデータをもとに年度ごとの取得価額、原価償却額、減価償却累計額、帳簿価額を一括で計算します。また、必要なデータが入力されてない資産の一覧も表示されます。



●各種帳票出力機能

工事一覧をはじめ、取得価額表や固定資産内訳書、施設台帳などの入力データを帳票印刷できます。様々な条件を設定し出力することで、統計資料の作成といった困難な業務の迅速化を実現します。



●台帳情報検索・表示機能

年度や事業区分名など様々な条件から工事台帳を検索、表示できます。また個々の設計書の詳細な情報も表示できます。

下水道情報管理システム

設備台帳システム

資産台帳の情報管理にとどまらず、「下水道情報管理システム」や「設備台帳システム」、「企業会計システム」など、多彩なシステム構成群によってサポートします。

